

# 桜丘まちづくりニュース

N03 平成20年1月

—快適に住み続けられるまちづくり—

発行：NPO世田谷桜丘まちづくり



## 新春”まちづくりにかける夢 ～桜丘こなまちにしたい～

理事長 荒井 芳夫

新年 あけましておめでとうございます。昨年中は、NPO世田谷桜丘街づくりの活動に対して、多大なるご支援ならびにご協力を賜りましてありがとうございます。昨年は、春の「まちづくり祭り」、2回の「古着回収」、9月の「コンサート」、10月のウォーキングラリー、12月の「まちづくり音楽祭」と盛りだくさんの行事がありました。そのほか、日々の活動として「桜樹広場の管理」「違反広告物の撤去」「桜丘わんわんパトロール」。更に新しい事業として世界の子供たちをすくう「ペットボトルキャップの回収」、春と秋の「古着の回収」、地域の子供たちの健全育成事業として「おかし森」と「子供たちの手作り教室」、懐メロを通じてのふれあいサロン「憩いの和」、この街で安心して、楽しく住み続けられるための「助け合い隊」など、コミュニティステーションを訪れる方からの提案もありました。このような活動に賛同して、遠くから商店街に足を運んでくれる方たちも増え、会員や賛助会員への申し込みも増えてきました。ペットボトルキャップの回収については、成城自治会さんも協力していただけることになりました。徐々にではありますが、活動の趣旨が理解していただけるようになってきています。今年、桜丘まちづくり活動を始めて20年目になります。地域、商店街づくりに努めてまいりますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

### 【平成20年度行事予定】（都合により、変更等の場合もあります）

- 4月13日（日） 第14回桜丘まちづくり祭り開催（桜樹広場）
- 5月17日（土） 古着・古布回収
- 7月最終土・日 参商会主催納涼盆踊り大会（予定）協力（稲荷森稲荷神社）
- 10月 稲荷森稲荷神社大祭 宇山稲荷神社大祭
- 10月19日 第8回ウォーキングラリー開催
- 11月15日 古着・古布回収
- 11月 桜丘区民センター祭りへの展示
- 12月13日（土） 桜丘まちづくり音楽祭〔桜丘ホールにて〕



## 「桜丘助け合い隊」の活動を開始しました

昨年の5月から準備を進めてきた「桜丘助け合い隊」がいよいよ正式に活動を開始しました。「桜丘助け合い隊」は町内および近隣地域に居住される方同士がお互いに支援の手を差し伸べて、困っている方のお手伝いをしていこうという趣旨で結成されました。高齢化が進む中で家具の移動や庭木の手入れ、ゴミの処理や役所への届出など日常生活のちょっとしたことでお困りのケースはこれからますます増えてくることが予想されます。以前であれば、お隣さんに気軽に頼めたことが最近ではなかなかそうもいかず、そんなときに代わりに務めるのが「桜丘助け合い隊」です。利用する方、支援する方いずれも近くに居住する方ですので何かと安心です。

有償ボランティアとして支援していただける方も募集中です。

利用方法：①会員登録 年会費 3000円（保険や連絡事務費に当てられます）



②協力感謝券をご希望の枚数分お求めください



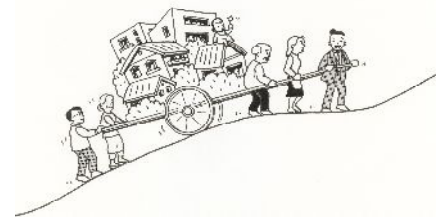
③支援してほしい旨、下記事務所まで連絡ください



④支援内容を伺い、適切な支援者をご案内いたします



⑤作業が終了しましたら、利用補助券をお渡しください。（1時間 800円が目安です）



連絡先：「NPO世田谷桜丘まちづくり」 TEL 03-3427-4181（午後1時から7時まで、日曜は休みです）

# 盛況だった昨年秋のNPO主催のイベント

## レディ・ジニー・ゴールウェイさんと仲間たちコンサート開催

今年も国際的なフルート奏者のレディ・ジニー・ゴールウェイさん、世界各国で数々の賞を得ているギタリストの新井伴典さんをお招きしてのコンサートは、会場に補助いすを並べるほど好評でした。6時半からの開演でしたが、ジニーさんは1時過ぎに会場に着くと、開演間際まで4時間以上もリハーサルを行っていました。世界的な音楽家でも、小さな地域のコンサートにもかかわらず、これほどまで念入りにリハーサルをすることに、改めてプロのすごさを感じさせられました。会場は、空調設備が悪く蒸し暑かったのですが、素晴らしい演奏に耳を澄ましていました。このコンサートの企画に協力していただいた嶽道優子さんのソプラノ、当日ドイツから日本についたばかりで直接会場に駆けつけてくださったフィリップ・モルさんのピアノも加わり、素晴らしい演奏会になりました。演奏者からも、「地域でこのようなコンサートが出来るなんて素晴らしい街ですね。また声をかけてください」というお言葉もいただきました。



## 『第8回 桜丘ウォーキングラリー』実施報告

昨年10月21日(日)に参加者106名(27チーム)を得て実施しました。当日は天候にも恵まれ、秋の爽やかな中で歩いていただきました。

今回は、東京農業大学(13号館)を出発して、世田谷キャンパス、けやき広場を経由して馬事公苑に入り、帰路はバイオリウム、「食と農」の博物館の中を見て、ゴールの東京農業大学(13号館)に戻るコースでした。例年と異なり、公道を歩く距離が非常に短く、私達の地域を代表する施設の中を歩くコースとしました。これは、普段、何気なく目にしているものについても改めて見て、考える機会をお持ちいただきたい、との趣旨によるものです。幸い、



東京農業大学や馬事公苑におきましては、趣旨をご理解いただき、様々な面でご協力を賜ることができました。途中でメモを取る姿も見受けられ、また、ゴール後に解説書も配布いたしましたので、地域のことをよりご理解いただく機会になったものと思います。今回も地域内の店や企業などから多くの賞品をご提供いただき、表彰式も大いに盛り上がっていました。また、今回のウォーキングラリーにおいて撮影していただいた写真を対象にした写真コンテストも後日、実施しました。このように地域に定着したイベントとなりましたので、今後も続けて行きたいと考えております。次回も多くの方がご参加いただけますことをお待ちしております。

## 第14回桜丘まちづくり音楽祭を開催

2007年12月8日(土)、桜丘ホール(世田谷区立桜丘集会室)にて、第14回桜丘まちづくり音楽祭が開催されました。前半は、桜丘に居住される方や地域の学校に通われる生徒さんたちの演奏で、特に桜丘小学校や笹原小学校の生徒さんたちのブラスバンドや歌声には、多くの父兄が応援団として声援を送っていました。又、東京農業大学、農友会邦楽部の皆さんによる弦と笛の演奏も、しっとりとした和楽器の響きで観客を魅了しました。後半は音楽を専門に勉強されている方やコンサートでの演奏活動をされている方の出演で、サキソフォンやフルートの管楽器や、ヴァイオリン、ピアノそして最後は女性二重唱のクリスマスキャロルなど盛りだくさん、かつ、質の高い演奏を聴くことが出来ました。文化の薫り高い桜丘の音楽祭としてさらに内容を充実し定着を図っていきますので、来年はより多くの方にご来場いただき、最後まで素晴らしい音楽を楽しんでいただきたいと思います。



農大の邦楽部の演奏



女性二重唱



## ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップの回収を始めて半年ですが、それほどPRしていないにもかかわらず反響が大きく、遠くから持参してくれる方も増えてきました。成城自治会も自治会ぐるみで取組むことを決定して、区の出張所にも呼びかけて、回収業者との話し合いを持ちました。回収については私たちの「NPO 世田谷桜丘まちづくり」を窓口となります。そして昨年暮れに、初めて回収業者に400kg(16万個)近いキャップを引き渡しました。今後、回収業者と引取りの契約を交わし、収益金に関しては全額世界中で病気や怪我、飢えで困っている子供たちの支援金として役立ててまいります。今回の回収で約1300kgのCO2が削減された計算になる

のですが、回収のための車が排出するCO2も含めると僅かの量でしょうか。私たちは、このような活動を通じて、世界には飢えで困っている人が5億人もいること、日本のコンビニで廃棄されている弁当の半分の量で、このような人々を飢えから救うことができること。また、少しでも多くの方に地球環境についての関心を持ってもらえればと願っています。



キャップの回収状況

## 古着・古布の回収は、5月と11月の年2回

11月に資源リサイクル事業として3回目の古着・古布の回収を実施しました。いつもの通り笹原小学校、桜丘小学校、宇山神社の3ヶ所を回収場所としました。皆様から持ち込まれた量は約9トン。前回、前々回に比べて若干減ったものの、次第にこの活動も定着してきました。新品や新品に近い衣類は稲荷神社前の桜丘コミュニティステーションでリサイクル品として販売しています。今後とも、新品と古着を分別してお出しいただくようお願いいたします。次回の回収は今年の5月に予定しています。いつもながらご協力に感謝申し上げます。



古着の回収状況

## 憩いの和

懐かしい映像と歌を楽しみませんか  
この町内では、日ごろ合唱・カラオケ・童話など様々なサークルが活発に行われています。友人を誘って楽しく歌っていた人たちがある日突然歩けなくなったり、声が出なくなってしまう、人前に出るのがいやになり家に引きこもってさびしい毎日を送っている方もいらっしゃいます。

この“憩いの和”は、毎月第4日曜日の午後2時～4時までNPOの事務所で誰でも無料で参加できる歌とおしゃべりの会です。そこにいけばピアノも楽器もありませんが、中古のテレビが一台を囲んで、明治・大正・昭和の映画を見ながら、画面の中の俳優さんと一緒に主題歌を歌う会です。このビデオの歌は、昔懐かしい歌ばかり、誰に気遣いすることなく“みんなお友達”の楽しい会です。さあどうぞ一度覗いてみてください。

## 第1回桜丘まちづくり絵画コンクール

11月に募集しました作品は、出展数は少なかったものの、個性的な楽しい作品がたくさんありました。

毎週水曜日の駄菓子屋「おかしの森」でよく顔を見せてくれる子供たちや、ご近所の大人の方の参加がほとんどで、1月いっぱいコミュニティステーションに展示することになりました。そして、コミュニティステーションに訪れる多くの方に、展示作品の気に入った作品に対して投票をしていただきました。そこで、協力いただきました店舗や団体からの各賞が決定して、

1月からコミュニティステーションの壁に展示してありますので、ぜひご覧ください。また、これからも、子供たちを中心に、地域の方々や商店街の方々の協力によって、街の活性化に役立ちたいと思っております。

毎週水曜日は、駄菓子屋さんの「おかしの森」と、隣のテーブルで絵手紙、工作などの手作り講座も開催しています。



本校は今年度創立 50 周年を迎えました。昨年 10 月には、大勢のご来賓、地域の皆様にご参列いただき、記念式典を挙行することができました。ありがとうございました。

本校は、今年度児童 362 名でスタートしました。学級数は 12 学級に加え通級の弱視教室の計 13 学級です。「思いやりの心を育て、伸ばす」「基礎・基本や生きる力をつける」学校を目指し、明るくたくましい子、よく考え工夫する子、やさしく助け合う子を教育目標として指導にあたっています。今年度は特に読書好きの子どもを育てること、自分から進んであいさつのできる子どもを育てることに取り組んでいます。また、子どもたちの登下校の安全を地域・保護者の方々にもお願いし「笹原小こども安全見守り隊」というプレートを配布し、ご協力をいただいております。

今後とも地域とともに歩む学校を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。



## 商店街とまちづくり

千歳船橋参商会商店街振興組合

理事長 太田十郎

参商会もまもなく創立 60 周年を迎えようとしています。私たちの先輩役員はじめ多くの組合員の努力により、また地域の皆様方にご利用いただきながら発展してまいりました。平成 4 年に振興組合として組織替えを行いました。これまで、地域のかたがたとの親睦行事として、餅つき大会や、盆踊り大会など様々な行事を行って参りました。平成 15 年 11 月にサンカードとしてポイントカードの導入も行いました。平成 18 年 11 月には、街路灯の建て替えを行い、街がいつそう明るくなり防犯にも一役買っています。新しい街路灯は、足元も明るく照らされるため、利用者の方々にも喜んでいただいております。長年商店街と協力し合いながら街づくりを続けてきた「桜丘まちづくり協議会」が「NPO 法人世田谷桜丘まちづくり」と組織を新たに、商店街の中にコミュニティステーションを開設しました。子供たちが、街を歩く姿も目立ってきました。参商会としましても、お互い協力し合いながら、街の活性化、子供たちの育成に向けて努めたいと思っております。今後とも参商会商店街をよろしくお願いいたします。

## 桜丘一口メモ 桜丘の名所旧跡

### 《稲荷森稲荷神社》

商店街「参商会」の真ん中にある稲荷森稲荷神社は、五穀豊穡の神様の倉稲魂命を祀り、その建立時期などは不詳ですが、江戸時代以前の世田谷吉良家の頃の創立ではないかと言われています。吉良氏とは、あの忠臣蔵で有名な吉良上野介義央(ヨシナカ)とは祖先(足利義氏)が同じで、世田谷吉良氏は室町幕府が成立した頃(今から約 670 年前)にここ世田谷を本拠地としました。一方、源義経(幼名は牛若丸)が奥州下向の際(12 世紀末頃)、その後を追った静御前が参拝したという話も残っていますので、もしそうであれば、建立時期は今から 800 年以上前ということになります。



また、世田谷のボロ市の発祥地とも言われ、以前はボロ市の日には神社前に数軒の店が出ていました。1578 年から始まったと言われ、今から約 200 年前に 12 月 15 日と決められました。現在は 12 月 15・16 日と 1 月 15・16 日に行われています。

なお、稲荷森稲荷神社に向かって右隅の消防ポンプの前にお地藏さんがありますが、これも古く、正徳 3 年(1713 年)と記されているものもあります。これのお地藏さんの足下にはそれぞれ 3 匹の猿が彫られています。

明治 18 年(1885 年)の記録には、547 坪(約 1,800 m<sup>2</sup>)の境内に 100 本余りの立木(杉)があり、社殿と拝殿を有し、44 戸の氏子に支えられていたとのこと。現在の社殿は、昭和 44 年(1969 年)に建てられたもので、以前のものは神輿庫に改造され、本殿の内宮は末社として外に祀られています。その内宮は寛政 11 年(1799 年)に建てられたものであることがわかっています。この社の杉の森は、古木がうっそうと茂り、黒駒裏街道といわれた要所で、府中方面と江戸との荷の上げ下げで往来が多い中、馬方たちは、「どんなに雨や雪が降っても、稲荷森まで行けば、焚き火ができる」と言っていた場所だということです。この神社の外れに、庚申塔と子育て地蔵が祀られています。また、世田谷の「ボロ市」の発祥はこの神社の市日に起源すると伝えられています。祭りは 10 月の第二土曜日と日曜日(昨年は 10 月 13 日と 14 日)に盛大に行われ、その日は 6 尺(約 1.8 ㍎)の大太鼓や神輿を担ぎ、神楽も行われて賑わいます。この大太鼓は、地域の若者(現在の睦会)がダンボール回収の奉仕を重ねるなど多くの人々の協力によって得た貴重なものです。

会員募集中です。安全で快適に住み続けられる桜丘にするための活動にご協力ください。年会費は 3000 円です。

発行者: 特定非営利活動法人 世田谷桜丘まちづくり  
世田谷区桜丘 2-20-10 TEL・FAX: 3427-4181  
E-Mail: [npo.sakuragaoka@diary.ocn.ne.jp](mailto:npo.sakuragaoka@diary.ocn.ne.jp)